

県央・林業部トピックス（６月号）

大田市で「ごうぎん希望の森・三瓶」の保全活動が実施されました！

令和８年６月２７日に、山陰合同銀行が主催し、しまね企業参加の森づくり事業の一環として、「ごうぎん希望の森・三瓶」の保全活動が実施されました。「ごうぎん希望の森・三瓶」は大田市有林内に位置し、２０２２年より山陰合同銀行職員の手で保全活動が継続的に実施されてきました。今回は約８０名の山陰合同銀行職員が参加し、植栽木周辺の除伐が行われました。

当日の天気は晴れながらも気温は低く、作業実施にちょうどよい天候でした。参加者は７班に分かれて「①クリやヤマザクラなどの植栽木の周りの除伐」や、「②植栽木に絡みついたツタのツル切り」を大田市森林組合の指導のもと実施されました。

保全活動の後には、「NPO法人水と緑の連絡会議」の皆さんが用意されたクロモジ茶が振舞われました。参加者からは「初めて飲んだが美味しい」「また飲みたい」と好評でした。

県では、「ごうぎん希望の森・三瓶」のような企業参加の森づくり事業のほか、県民の皆さんのアイデアをもとにした県民参加の森づくり事業などを通じて県下の森林活動の普及と啓発に取り組んでいます。ご興味のある方は是非島根県までお問い合わせください。



保全活動の説明



保全活動後に振舞われたクロモジ茶



除伐作業の様子



ツル切りの様子